

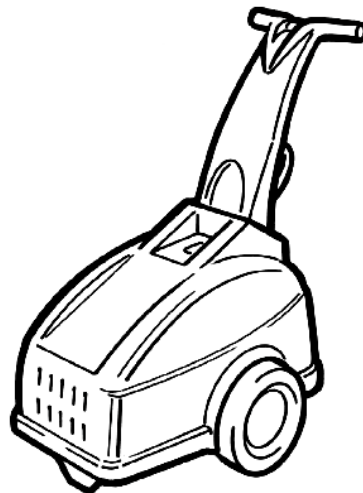
温水高圧洗浄機

ジェットグリーン

**JT-2015**

BULL : 2015MC

## 取扱説明書



- ① この取扱説明書には、正しく安全にご使用いただくための注意事項が記載されています。ご使用になる前に必ず本取扱説明書をお読みになり、正しい使用方法を理解してください。
- ② 本製品は、業務用製品として製作してあります。本製品の内容を理解していない方や、一般家庭の方は使用をご遠慮ください。
- ③ ご購入いただいた際に、本体に貼り付いている銘板の製造番号を上記に転記しておいてください。当品のお問い合わせの際は、上記製品名と製造番号をご連絡ください。
- ④ 当取扱説明書は、いつでも見ることが出来るようにしておいてください。  
尚、当取扱説明書の再発行は原則として出来ませんので、大切に保管してください。

# 目 次

§ 1	構成と名称	1
§ 2	製品の仕様諸元	2
§ 3	安全にご使用いただくために	3
§ 4	ご使用前の点検と確認	4
§ 5	組み立て手順	6
§ 6	作業手順の説明	7
§ 7	使用後の注意点	9
§ 8	保守点検	10
§ 9	トラブルシューティング	11
§ 10	製品の保証について	14

巻末 部品分解図



印付きの下記マークは、安全上特に重要な項目ですので必ずお守りください。



**危険**

適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡や重大な傷害が生じる危険性が極めて大きいことを示します。



**警告**

適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡や重大な傷害が生じる危険が存在することを示します。

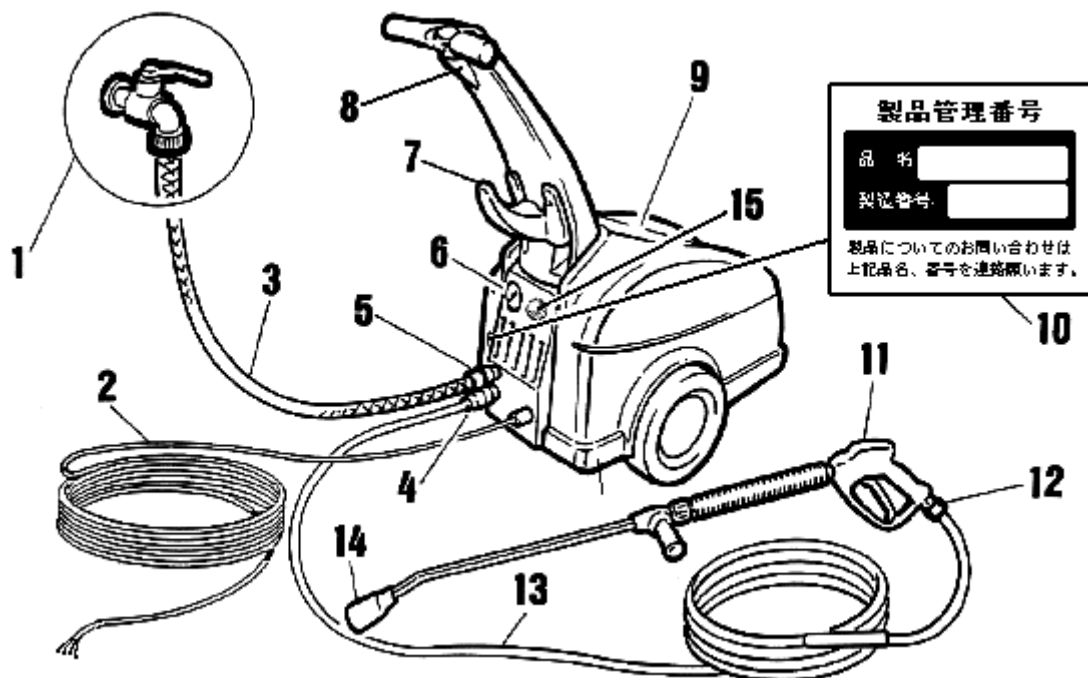


**注意**

安全な取扱いに対する助言、あるいは適切な事前注意を払わなかった場合に、傷害または製品の重大な破損に至る可能性があることを示します。

## § 1 構成と名称

当機は以下の部品で構成されています。



1. 蛇口接続用バンド
2. 電源コード
3. 水道直結ホース（または自吸ホース／オプション）
4. 吐出カプラ
5. 吸水カプラ
6. 圧力計
7. ホース、コードホルダー
8. ハンドル兼ケミカルタンク
9. 電源スイッチ
10. 銘板
11. 洗浄ガン、ダブルランス
12. ユニオンジョイント
13. 高圧ホース
14. ノズル（高圧用／低圧用）
15. ケミカル調整ダイヤル

## § 2 製品の仕様諸元

### ■製品本体仕様・性能

製品名 . . . . . JT-2015

最大吐出圧力 . . . . . 50Hz:20 MPa  
60Hz:18 MPa

最大吐出量 . . . . . 50Hz:13 L/min  
60Hz:15 L/min

電源 . . . . . 3 相 AC200V 50/60Hz

電源コード長 . . . . . 3.5 m (プラグ別)

使用ノズル . . . . . 高圧ノズル 50Hz:1/4MS15040  
60Hz:1/4MS15045  
低圧ノズル 1/4 50/60Hz 共通

調圧方式 . . . . . 背圧式アンローダー方式

給水方式 . . . . . 水道直結式 水道ホース 5m 付  
又は フィルター付き自吸ホース (オプション)

吐出口 . . . . . 300k 耐圧カプラ TM3TSF

給水口 . . . . . 給水カプラ

自動停止方式 . . . . . 圧カスイッチ式 (マグネットスイッチ 24V, タイマー制御)

外観寸法 . . . . . 690L×500W×950H

製品重量 . . . . . 75 kg

■ モーター . . . . . 三相 200V 5.5kw 4P 全閉外扇型

定格電流 . . . . . 21A

保護装置 . . . . . 過電流保護装置付 ブレーカー

■ ポンプ . . . . . NMT1220 (LEUCO)

クランク潤滑油 . . . . . 自動車用エンジンオイル SE 級以上 SAE10W-30

オイル量 . . . . . 0.65L

調圧方式 . . . . . 背圧式アンローダー パルサー4


■ 高圧ホース . . . . . 高圧温水ホース 9H×10m

洗浄ガン . . . . . トリガー式ガン 3/8M+AL19+中間ランス MT3+KM

ランス . . . . . ダブルランス DLCS-7

給水ホース . . . . . 水道ホース 5m

### § 3 安全にご使用いただくために（製品の始動前に必ずお読みください。）

 **警告：人体等への安全のために、下記の事項を厳守してください。**

#### 1. 高圧力に注意

高圧噴流は大きな洗浄能力を持つと同時に、取扱いを間違えますと非常に危険です。取扱いには十分御注意ください。また、怪我をした場合は直ちに医者の手当てを受けてください。

- ① ノズル（噴射口）を、絶対に人や動物にむけないでください。
- ② 噴射前や噴射中に、ノズルの前に手などを当てないでください。
- ③ 作業中は、噴射水が作業者にかからないよう十分注意してください。特にゴミ等が目に入らない様、保護具を装着してください。
- ④ 装置から水漏れが発生した場合は、その部分には**絶対に触れない**でください。直ちに装置を止めて修理してください。
- ⑤ 噴射作業中は、ガン、ランスをしっかりと支持し、反発力で跳ばされないよう注意してください。
- ⑥ 高圧ホースは、破裂（バースト）の可能性がありますので、**作業中ホースが体に密着しない**ようにしてください。
- ⑦ 高圧ホースは、外皮が傷んでいたり折れ曲がった（キンクした）状態で使用しますと、**破裂の危険性が高いので新しいホースに交換**してください。
- ⑧ 使用後（停止後）もホース内には残圧があります。ガンの引き金を引いてホース内の残圧を逃がしてください。
- ⑨ 接続金具に錆、破損等がないか確認してください。

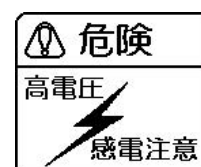


#### 2. 作業開始時や作業中に、異音が発生していないか注意

作業開始時や作業中に異音を感じたら、直ちに作業を中止し、原因を調べてください。原因がわからない場合は、メーカーに問い合わせるなどして、安全が確認できるまでは運転を見合わせてください。機械の異常損傷や作業事故につながる可能性がありますので、十分にご注意願います。

#### 3. アースの接続

漏電等による火災、感電事故は重大な損害を与えます。短時間の運転でも**必ずアースを接続**して下さい。



#### 4. 作業に適した服装で

体を保護するために、長袖、長ズボン、ゴム手袋、滑り止めの付いた履物を着用して作業をしてください。

保護メガネも使用してください。

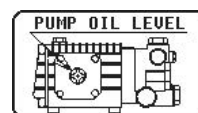
## § 4 ご使用前の点検と確認

 **注意：機械を壊さないために、下記の注意事項をお守りください。（重要）**

### 1. ポンプオイルのレベル及び汚れのチェック

オイルの入っていない状態で運転しますと、クランク部で焼き付けを起こしますので、**始動前にレベルゲージでオイル量をチェック**願います。不足している場合はポンプ上部の給油口よりオイルを補給してください。

※ オイルの汚れがひどい場合はオイル交換をしてください。  
オイルは約 0.65L 入ります。



### 2. 清水（水道水）を使用してください

機密性の高い高圧プランジャーポンプは、砂泥、金属粉等には非常に弱いポンプです。これらスラッジ分の混入した水を使用しますと、ポンプ内のバルブ、パッキン、プランジャー等を早期に傷めますので、**清水（水道水）**を使用してください。

### 3. ポンプ、ホース内の残水の凍結の心配はないか？

ポンプ、ホース内が凍結した状態で起動しますと、氷の破片によりポンプ、ホース内部が破損しますので、凍結の心配があるときは**解凍を確認してから作業**してください。



### 4. 純正品以外の部品は、原則として使用しない

ガン、ホース、ノズル等は、必ず**純正部品**を使用してください。万一、純正以外の部品を使用する場合は、適合性を十分に調査、確認をしてからにしてください。



### 5. 圧力は規定値又は、それ以下で使用する

使用中の噴射圧力が規定値（50Hz:200kg/cm<sup>2</sup>，60Hz:180kg/cm<sup>2</sup>）を超えている時は、ノズルの適合性を確認するとともに、本体カバーを外してアンローダーのノブで圧力を**規定値まで下げて**ください。圧力の高いまま使用しますと装置が破損する恐れがあります。

### 6. ポンプの空運転の禁止

本機使用時、スイッチを入れる前に**本体に通水がされているか必ず確認**するようにしてください。ポンプに水が供給されない状態で**連続1分以上の空運転はしないで**ください。空運転するとポンプ内部が非常に高温となり、ピストン、パッキン等の早期損傷あるいは内部が溶解して装置の故障につながります。

## 7. 使用液体について

ポンプの使用液体について、次のことにご注意ください。

- ① **PH 4～10**の範囲内で御使用ください。範囲外の酸、アルカリを使用しますと、ポンプ、ホースを損傷させます。
- ② **研磨的な作用のある液体**を使用しますと、ポンプ、ホースを損傷させます。
- ③ **0～60℃**の範囲を超える液体を使用しますと、ポンプ、ホースを損傷させます。



## 8. 指定された電源を使用していますか？

指定の電圧 (V)、周波数 (Hz) に接続してください。それ以外の電源での使用は、機械の破損またそれに伴い火災等の事故につながる危険性があります。指定外の電源には絶対に接続しないでください。また、電源元には必ず漏電ブレーカーを設置し、確実に接続してください。



## 9. 機械の設置

下記の事柄に注意して機械を設置してください。

- ① 狭いところや壁、塀等の近くで機械を運転しますと、熱効率が悪くなり本機を損傷させますので、**障害物がない換気のよいところに設置のうえ運転**してください。
- ② **急な傾斜地で運転**しますと、**オイルが十分な潤滑をできず、ポンプを損傷**させますので、平坦な安定した場所で運転してください。
- ③ **本機は防水型ではありません**ので、雨や雪、跳ね返った噴射水や霧等がかからないように設置してください。故障の原因となりますのでご注意ください。
- ④ 発電機等の排気口側に本機を置きますと、排気熱で本機を損傷させますので、熱の影響のない涼しい場所に設置してください。
- ⑤ 高圧洗浄機は、故障またはホースの破裂などによって水が漏れる可能性が常にあります。漏れても問題ない場所に設置してください。また、濡れて困るものは、洗浄機の周囲に置かないでください。



## 10. 装置に損傷等はありませんか？

ガン、ホース、ジョイント等に損傷があり、**水漏れが確認された場合はすぐに運転を停止**してください。そして直ちに修理をお願いします。

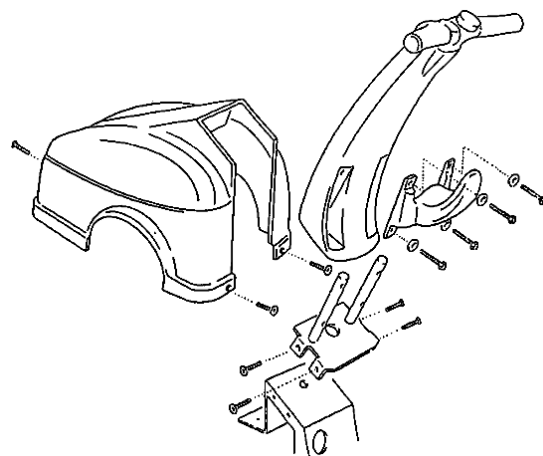
水漏れのある状態で使用を続けると大変危険なうえ、機械にも大きなダメージを与える原因となります。

※ 水漏れがある状態で使用しますと、オートストップ機能は正常に動きません



## § 5 組み立て手順

1. 本体前後のカバー留めネジ（3本）を外し、本体からカバーを取り外します。
2. ハンドルホルダーを本体にネジ留めします。
1. ハンドルホルダーの支柱間の穴から透明チューブを出し、ハンドル兼ケミカルタンク（§ 1－8）の下部にあるタケノコジョイントに差し込みます。
2. ハンドルホルダーの2本の支柱にハンドルを差し込みます。
5. ホース、コードホルダー（§ 1－7）をハンドルと一緒に支柱にボルト留めしてください。
6. 本体にカバーを取り付けます。





## § 6 作業手順の説明

### 1. 運転準備

- ① 始動前にカバーを外し、**ポンプオイルが規定量入っているか確認**してください。ポンプオイルが入っていない（または減っている）状態で運転しますと、ポンプの焼き付きの原因となります。
- ② 構成図を参考に、水道蛇口と洗浄機本体を給水ホースで接続してください。このとき**給水ホースの取り付け不良はポンプのエアかみを引き起こし**、異常振動、圧力低下の原因となりますのでしっかりと接続してください。
- ③ 高圧ホースを、本体吐出口カプラーに接続してください。カプラーは、カチッと音がするまで奥まで確実に差し込んでください。ガン、ランスも構成図を参考に接続してください。
- ④ **ノズルは必ずポンプ性能に適合しているものを使用**してください。適合していないノズルでの使用は、**規定圧力以上の高圧になる恐れ**があるため大変危険ですのでおやめください。
- ⑤ 機械本体、配電盤などのスイッチが入っていないの確認してから、電源コードを供給電源（**3相200V**）に接続してください。  
コードは4芯（**茶、青、黒、黄／緑**）となっております。モーターの回転方向は問わないため、接続は**アース（黄／緑）以外はどの順番でも構いません**。安全のために**必ずアースをとる**ようにしてください。



### 2. 運転開始

- ① 水道の蛇口を開き、**本体に送水**してください。
- ② ガンのトリガーを引き、ノズル先端から水が出てくるのを待ちます。
- ③ 本体電源スイッチを入れてください。
- ④ ガン、ランスをしっかりと支持したら、すぐにガンのトリガーを引き**ポンプ内部のエア抜き**をします。ノズルから高圧水が噴射し、圧力が安定したらエア抜きは完了です。  
※ **始動時にエア抜きを行なわないとモーターが起動しにくい場合**があります。  
※ もし高圧水が噴射されない状態が1分程続くようでしたら一旦機械を止め、“**§ 9 トラブルシューティング**”に沿ってチェック願います。水が噴射されない状態で1分以上の空運転をしますと、パッキンやプランジャー等が早期損傷してしまいます。
- ⑤ 周囲の安全を確認しながら作業を開始してください。  
※ 水道の圧力が弱い（流量が約15L/min以下）ところでは送水不足のために連続噴射できないことがあります。

- ⑥ 圧力調整はアンローダーノブを回して行ないます。**規定値**  
(50Hz:200kg/cm<sup>2</sup>, 60Hz:180kg/cm<sup>2</sup>) **以上には絶対に設定しないで**く  
ださい。圧力は噴射時のみ表示されますので、アンローダーを回す際  
は十分注意して行なってください。

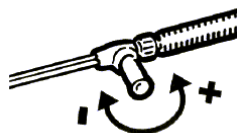
### 3. オートストップ機能について

本機には安全のため、オートストップ機能が付いています。運転中  
ガンのトリガーを放して噴射を停止していると、約20秒後にモータ  
ーが自動停止します。トリガーを引きますと再びモーターが回りはじ  
め、噴射が始まります。

※ **オートストップ制御は圧力によって行なっている為、設定圧力が  
55kg/cm<sup>2</sup>以下では正常に働きません。**

### 4. ケミカルモード

- ① ガンのトリガーを放し、噴射を止めてください。
- ② ケミカルタンクに薬剤を入れます。(使用液体は§4-7を参照)
- ③ ランスグリップを**プラス方向**に廻してください。**ケミカルモード**に  
なります。ケミカル使用後はマイナス方向に廻せば高压モードに戻り  
ます。



- ④ 本体のケミカル調整ツマミを回して、任意のケミカル量に調整しま  
す。(右回し：少ない～止／左回し：多い)
- ⑤ ガンのトリガーを引き続けると約30秒ほどで洗浄剤が噴出します。
- ⑥ ケミカルモードを終了する場合は、ケミカル調整ツマミを右にいっ  
ぱいに回しておいてください。

※ しっかりと右に締め戻しておかないと、高压時に噴射圧力が上が  
らなかったり圧力が不安定になったりすることがあります。

### 5. 運転終了

- ① 水道の蛇口を閉め、**本体への送水を止めて**ください。
- ② モーターを回転させている状態でガンのトリガーを引き、ポンプ内  
部に残った水を抜きます。
- ③ 水抜きが終わりましたら電源スイッチを切ってください。このとき、  
**2分以上の空運転は避けて**ください。**パッキンの異常摩耗につながり  
ます。**

※ モーター停止後もホース内に残圧があるおそれがありますので、  
再度ガンのトリガーを引いて残圧を抜いてください。



- ④ 事故防止のため作業終了後は、電源コードを取り外す(又は電源元  
のブレーカーを切る)などしておいてください。

## § 7 使用後の注意点

### 1. 寒冷時の凍結防止

寒冷期にポンプ内に水を入れたままにしておくと、**凍結によりポンプの破損につながります**。凍結防止のため使用後は必ずポンプ及びホース内の水を抜いておいてください。また、不凍液をポンプ内部に充填させておくことでトラブルの発生を防ぐことができます。

万一、内部凍結の可能性がある場合は、機械を暖かい場所に置くなどして解凍してください。**解凍するまでは絶対に運転しない**でください。

凍結している状態での運転は、ポンプ内部の故障に直結する原因となるばかりでなくポンプ本体の破壊等による事故発生の可能性があり、大変危険ですので絶対にしないでください。



### 2. 不凍液の循環方法

給水ホースを水道蛇口から外し、適度に希釈された不凍液の水槽内に入れた状態で、機械を作動させてください。不凍液がポンプ内に吸入されます。ポンプ内に（必要に応じてホース内にも）液が行き渡ったら機械を止めてください。

### 3. 保管場所について

本機は防水型ではありません。スイッチ等に水がかかると、漏電、故障等につながりますので、保管の際は雨水がかからないように注意してください。

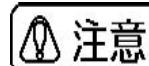
## § 8 保守点検

### 1. アンローダーの調整について（重要）

アンローダーで圧力を上げる方向に変更する場合は、**調整ナットの締めすぎは、装置の破損につながります**ので十分注意してください。

《調整方法》

- ① ガンを噴射状態にして、圧力を確認しながら徐々に締めていき、製品の規定圧力になったところで固定し、それ以上圧力が上がらないようにしてください。
- ② 必要以上に締め上げても、噴射圧力は上がりません。逆に、**ポンプ内部が異常に高圧となり装置を破損させる**こととなりますので十分に注意してください。



### 2. ポンプの点検

#### ① ポンプオイルの交換

【交換時期】・・・初回：50 時間運転時 以後：100 時間運転毎

【推奨オイル】・・・自動車用エンジンオイル SE 級以上 SAE10W-30

【オイル量】・・・約 0.65L

- エンジンオイルが汚れていたり、少なかったり、品質の悪いオイルを使用しますとエンジンの寿命を縮めます。常に良質できれいなオイルを規定量保つようにしてください。

#### ② パッキン，バルブ交換

長時間使用しますと、プランジャー部のパッキンが磨耗し、正常な圧力が得られなくなったり、ポンプ下部から水漏れすることがあります。この場合はプランジャー部のパッキンをセットで交換してください。

またバルブが磨耗しますと、正常な圧力が得られなくなったり、圧力が乱れたりします。この場合はバルブをセットで交換してください。

## § 9    トラブルシューティング

### 1. 現象：モーターは正常に回転し、普通に噴射しているが圧力が所定値まで上がらない。

- ① アンローダーの圧力調整不良  
→ 運転（ガン噴射）の状態で、アンローダーの圧力調整ノブを回し、圧力を調整してください。
- ② アンローダーのバルブ、シートの摩耗  
→ 部品交換。
- ③ 給水系統からのエア吸い込みによる不良（ポンプに水が十分供給されない。）  
→ 給水ホースの接続を確認し、緩んでいる箇所を締め直してください。  
→ 接続部のパッキン交換。
- ④ ノズル口径の異常  
→ 摩耗により口径が大きくなっている恐れがあります。部品交換してください。  
→ 純正品以外の口径の大きいノズルが付いていないか確認してください。
- ⑤ ポンプ内部の不良  
→ ポンプヘッドのバルブ部の六角を外し、バルブにゴミが付着していないか調べ、ポンプ内に残っているゴミ分を水道水で洗い流してください。  
→ プランジャー部のパッキン、バルブ摩耗のため交換してください。

### 2. 現象：モーターは正常に回転しているが、圧力がほとんど上がらない。

- ① ノズルの目詰まり  
→ ノズルを外して、エアーブロー又は細い針金などでゴミを除去してください。またノズル装着の前に機械を動かして捨吹きを行なってください。
- ② アンローダーのゴミ侵入による不良  
→ バルブシート周辺にゴミが引っ掛かっている可能性がありますので、分解洗浄してください。
- ③ 給水系統からのエア吸い込みによる不良（ポンプに水が十分供給されない。）  
→ 給水ホースの接続を確認し、締め直してください。  
→ 接続部のパッキン交換。
- ④ ノズルが低圧モードになっている  
→ ランスグリップを廻し、高圧モードに切り替える。（§ 6－4 参照）
- ⑤ ポンプ内部の不良、バルブの固着  
→ ポンプヘッドのバルブ部の六角を外し、バルブにゴミが付着していないか調べ、ポンプ内に残っているゴミ分を水道水で洗い流してください。  
→ プランジャー部のパッキン、バルブが摩耗している場合は交換してください。  
→ 長時間の空運転でプランジャーが割れることがあります。分解点検し、破損していれば部品交換してください。

### 3. 現象：圧力が変動する。

- ① 給水ホースの締め付け不良
  - エア噛みを起こしている可能性があります。本体とホースをしっかりと接続してください。
- ② ポンプの弁へのゴミ引っかけり
  - ポンプヘッドのバルブ部の六角を外し、バルブにゴミが付着していないかを調べ、ポンプ内に残っているゴミ分を水道水で洗い流してください。

### 4. 現象：ガンをはなしても圧力が下らない。

- ① アンローダー一部の背圧弁の異常
  - 分解して背圧弁部分にゴミが詰まっていないか確認し、ゴミ分を水道水で洗い流してください。
  - 背圧弁，スプリング，O Rが損傷していないか確認し、損傷している部品を交換してください。

### 5. 現象：ガンをはなした状態でハンチングが起こる。

- ① 高圧側からの水漏れ
  - ※ アンローダーよりも後ろ（高圧）側で水が漏れていると、ハンチング（圧力が上がったり下がったりする現象）が起こります。
  - ジョイント類を締め直す。金具に変形，摩耗等があれば部品交換。
  - ガンの修理，交換。

### 6. 現象：ポンプからオイルが漏れる。

- ① 締め付け不良
  - ボルト等がしっかりと締まっているか確認する。緩んでいる箇所を締め付けてください。
- ② Oリング，パッキンの損傷
  - 部品交換。
- ③ オイル注入量の過多
  - ポンプオイル量が規定量より多いと、オイルが噴きだすことがあります。
  - ゲージでオイル量を確認し、多すぎる場合はドレン口からオイルを抜いて規定の量（ゲージ中心位置）に調整してください。

### 7. 現象：ポンプから水が漏れる。

- ① 締め付け不良
  - ジョイント等がしっかりと締まっているか確認し、緩んでいる箇所を締め付けてください。
- ② Oリングの損傷
  - 部品交換。

③ シリンダー、シリンダーパッキン類の摩耗、損傷

→分解点検し、部品の摩耗、損傷により水漏れしている場合は、部品交換してください。

→高圧、低圧シールの摩耗により水漏れが起こる場合があります。分解点検し、摩耗した部品を交換してください。（空運転すると、ポンプ内部のパッキン等が早期に損傷してしまいます。）

**8. 現象：オートストップが正常に働かない。**

① 圧力が5.5 kg/cm<sup>2</sup>以上出ているか？

圧力が5.5 kg/cm<sup>2</sup>以下ですと、プレッシャースイッチが動きません。

→アンローダーの調整

→ポンプ、アンローダーなどの修理

② ガンを閉じたとき圧力が0 kg/cm<sup>2</sup>になるか？

ガンを閉じたときにポンプ内に圧力がかかっているとプレッシャースイッチが働かず、オートストップは作動しません。

→「4. 現象：ガンをはなしても圧力が下がらない。」を参照してください。

③ プレッシャースイッチの不良

→部品交換してください。

**9. 現象：電源が入らない。**

① ノズルのつまり

ノズルがつまんでいると、高圧ホース内の圧力が抜けない為、再始動時に電源が入りません。

→ノズルゆっくりと緩め、外して掃除をして下さい。

② プレッシャースイッチの故障

→アンローダーに接続されているプレッシャースイッチを交換して下さい。

③ ブレーカーが働いた。

過電流になると、本体のブレーカー（メインスイッチ）または配電盤のブレーカーが働きます。

過電流の原因を解決した後、ブレーカーを再びONにして下さい。

## § 10 製品の保証期間について

当製品は、弊社の厳しい品質管理のもとに製造し製品検査を行なっております。万一、正常な状態にて使用して故障が発生した場合は、当製品の無償修理をもって保証とさせていただきます。

また、当製品に起因した二次的損失(労賃や慰謝料等)については、保証対象外とさせていただきます。

製品の保証期間は、**ご購入後 1 年間**です。

但し、保証期間内でありましても、下記の場合の故障は、保証対象外となります。

### 1. 消耗品の磨耗による交換。

○ポンプ，調圧装置内のバルブ，パッキン類の摩耗。

○ノズル，高圧ホース，洗浄ガンのバルブの摩耗。

### 2. 不適正ノズル（標準ノズルより小径のノズル）の使用、調圧弁の不適正調整（調圧ナットの締め過ぎ）による故障。

### 3. ポンプオイルの点検不備（オイル切れ，汚濁等）による故障。

### 4. 水質不良，凍結，純正以外の部品使用，ポンプの空運転等による故障。

### 5. 天災・火災・風水害・落雷・その他不可抗力による故障・破損。

### 6. 「取扱説明書」によらない使用による故障。



モーター型高圧洗浄機の使用開始前に必ず下記空欄に必要な事柄を記入してください。  
点検の時に大変役に立ちます。

項 目	ご 記 入 欄		
型 式	JT-2015	ご使用開始 年 月 日	
製造番号		ご購入先 (必須)	TEL ( )
ご 購 入 年 月 日		※必ずご記入ください	

## アフターサービスについて

### 保証規定

#### 1.保証内容

お買い上げの日から1年の間に正常な使用状態にも関わらず弊社の責任に基づき故障が発生した場合は無償修理させていただきます。

#### 2.適用除外 ●保障期間中でも下記の場合には適用いたしません

- (1) 不当な修理や改善による故障、損傷。
- (2) お買い上げ後の落下などによる故障、損傷。
- (3) 火災、塩害、ガス外、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障、損傷。
- (4) 使用・取扱い上の酷使、過失、手入れ不十分および外的損傷による故障、損傷。
- (5) ノズル、摺動部の磨耗およびパッキン等の消耗部品。
- (6) 注意事項および取扱説明書に記載した内容の範囲外の条件で使用した故障および損傷。
- (7) 書類に不当な字句訂正などがあった場合。

#### 3.本書はお買い上げの納品書(納入口が記載されていることを確認)とともに大切に保管してください

### ユーザー登録について

～保証対象の確認および、速やかな保証対応のために、機械購入時にユーザー登録をお願いしています～  
同封の保証書に必要な事項をご記入いただきFAXいただくか、弊社ホームページ経由でも受付をしています。  
ホームページ経由でご登録いただきますと、ご購入いただいた商品のメンテナンス情報、関連する付属品、  
便利なオプション品情報、新商品情報など、定期的に情報配信をさせていただきます。  
是非、この機会にご利用くださいますようお願いいたします。

・登録場所/精和産業トップページ右側「保証書ユーザー登録」

<https://www.seiwa.com>

ここからも登録できます→



### 修理サービス

修理はお買い上げの販売店又は、弊社最寄りの営業所にご連絡ください。

## SEIWA 精和産業株式会社

### 浜松配送センター

〒432-8006 静岡県浜松市中央区大久保町1348  
TEL 053(485)6181 FAX 053(485)6180

仙 台	981-1105	仙台市太白区西中田6-15-13	TEL 022-241-2145
群 馬	371-0854	群馬県前橋市大渡町1-8-6	TEL 027-251-3457
東 京	136-0072	江東区大島5-12-7	TEL 03-3638-6911
神 奈 川	242-0029	大和市上草柳8-28-18	TEL 0462-63-3029
名 古 屋	453-0839	名古屋市中村区長筈町4-15	TEL 052-412-1717
大 阪	547-0001	大阪市平野区加美北8-1-18	TEL 06-6794-3511
岡 山	710-0841	倉敷市堀南606-1	TEL 086-426-5200
福 岡	816-0912	大野城市御笠川1-8-7	TEL 092-504-7213
エス・ティール	891-0175	鹿児島市桜ヶ丘2-22-10	TEL 0992-75-7550
塗機商事	903-0124	中頭郡西原町呉屋108-6	TEL 0989-43-4495